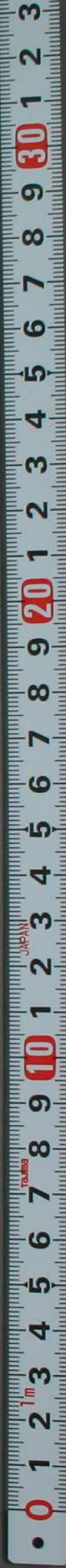


明治三十四年
五月中旬
東京東京
交發
可也



10
1191

注意

- 一、誤写ナキヲ保シ難シトモ特ニ取捨斟酌ヲ加フルコトナリ原文誤字版字等ノ介モ其ノ誤騰写ナリ但シ内ハ原文ニ長クナル者略シテモシテ二項止マシ
- 一、原文中麻呂城シテ漢シ難キモノハ之ヲ省ク
- 一、一項必スシテ一人ノ手ニ成ラズモノニアラサルモ今ニ於テ是別スル能ハス

大正三年十月八日記

校友

室井平藏



明治三十三年
五月中旬 東京專門学校 壁書 寫

○第一教場

我東京專門学校ノ講師諸君ヨ誠實ノ熱心ノ教
授ヲ以テ汝等免職ヲ食ハヌ秘決ニマラスニテ何ゾヤ

試験問題易乎難

然田満師ハ嘆

高田大寝坊野郎

高田文学大博士



松山樓

改進黨機關學校

電燈

矢來所

衆議給々定マレ処ヲ知ラズ是何然他惟責於

主治者之失方耳矣

有賀長文のつぱりやろ

米國留学

高田早苗氏專門學校ノ教頭ト云々可ナリ

内田三宅放逐云々

英國

昔者孔子没三年之外門

川橋講師

放逐講師如左

高田早苗
三宅恒徳
幹事殿

磯部四郎

ラダワラチヨチシ

○第三教場

茶話会

鷲ノ鳥ナリ 尾ノ鳥ナリ

伊藤暗殺

嗚呼専門学校、事終り

伊藤放逐論、井土太郎兵衛

高田講師放逐云々

法学士 高橋捨六

熊田ノ爪ハ千尺

今井ハボツキヤン

女郎買免員

坪谷寛吾 高山要吾

山口遊太郎 古原アツタ

石原正二 大鏡正一

徒然草

千アテアロー 今井

獨眼龍 平田

三階造り

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

○第三教場

教員ノ怠惰ニ困ル

有賀長文

宮岡恒三郎生意元極ニ少シク反有元処アリ

然ラサレハ汝頭上ニ鉄ケシノ墜ニ落ルニアルハ
シ朝倉モ亦同シ

半峯居士

教員ノ怠惰ニ困ル

改進黨ノ大玉大隈重信

三宅雄二郎

春の舎主人坪内雄藏君ハ

モツチヤクチヤ

高田早苗朝寝大隈重信

高田ヨ以テハ勉強ヤキヤキノ言ヲ入ルニ難シ

日本の没家ノ巻斗 春の舎美坪内雄藏

日本後来ノ政治家 矢野文雄 末松海澄 西氏

東京麹町区四番所

高田ハヅルキ

川橋放逐

川橋免職

奉勅

内閣總理大臣 鳩山

外務大臣 三宅

内務大臣 有賀

大藏大臣 天野

司法大臣 磯部

文部大臣 高田

陸軍大臣 三宅雄

海軍大臣 平田

逓信大臣 松崎

農商務大臣 澤田

枢密院議長 宇川

英雄豪傑輩出於何地也三宅君謂我
校出小波家滿校無一鳴鼓而責者真可
奮慨也矣哉

治外法權

内田放逐ス

朝倉馬鹿野郎

總理大臣鳩山和夫 内務大臣有賀長雄

外務大臣三宅恒徳 大藏大臣天野為之

文部大臣高田早苗 軍務大臣三宅雄郎

司法大臣平田康衛 宮内大臣宇山盛三郎

衆議院議長

いかさまさより

東京専門学校

東洋ノマコーレ一既存アリ然ラハ東洋ノピット

ハ誰ナヤ 大隈ナリ

ビツコ大隈

改進黨大将既不足ヲ失フ

文学士決闘先達ニ宅雄二郎

右訥弁ニシテ清師ハ不得手ニ付 辞職申付

假事

年月 校長前島密

新黒新入生生意気甚シ打殺ス

坪内先生

専門学校政治科

粗豪自許

三宅晚鐘

高田落雁

天野帰帆

樵山秋の月

神崎の夜雨

平田薄雪

専門学校講師一同可辞職 大替成

高田サシ昨日アケテ文ハミヤヤシシカ ナセマ

返事ヲクダサイマセシカ

高田好男子

専門学校運動會何思取行スヤ

坪内サシお前ノゴマカシニ閉口ダヨ私ハお前

ノ様ナモノハイヤダヨ ナニイヤシク

木内政治學士

有智實ハ溝義ハ下手ビツコース溝義

キレ
專断主義の体

森有礼伊勢大廟對シ無礼

森有礼天皇陛下對シテ

大隈ヲ仆サスシハ蒼生ヲ如何

大隈ハ政府ノ謀反人ナリ

カベシテシアイ

花陰徘徊双蛺蝶

貨幣

○第四教場

余カ帝國、馬鹿者アコトヤ、余歎息々依テ
書ス

熊田グチヤ、講師

高田早苗君、好男子ヲ乞取ル

高田色乞取リ

牛角モジ

牛ノ角モジニッモジ

高田、輕卒也、天野、因循也

天野、其ノ牛ナル乎

諸君見トレ玉フナ!!!

秋季揮舞會

東京專門学校生徒、條約改正断
行主三義ヲナスル矢

おくやまのともみちふみわけなく度の声
聞きや姿か見たくある。色て狂わす
八重山吹の黄金を迷ふふ安んもの先

専門学校、月俸高イ

嗚呼笑へし片書拜出字、心膽

一筆啓上親父さん御金被下恐惶謹言

諸君ヨ余、今此壇上、登り

一筆啓上かぐたいじ子供かわいや火のよふ

じん金の三三円も送りたけれと来た
手に侍座ふくらひ上

加藤松之助ノ肖像

拜出者ヲ攻殺する文、題ス

人々高田寺

いやですわアう恥じしいくすくつたいよ

東京早稲田金取専門学校幹事、吉

川翁

バツチエラーオラロー 中村忠雄

有賀ノ授業ハ課外ニス可シ

風肅々易水寒 壯士去不復帰

柳澤政太郎

○第五教場

トウ考ヘテモ月謝カ高イ

東京専門ノ学校

奥田ノゴマカシ

双行浪々憂時涙 一片耽々報國心 人間

付莫是酒蒸 不知何物洗胸襟

世界第一等ノ学校也

此者放逐スシ 中村忠雄 板屋確太郎

本校兵士榎本武揚 阿部右

外見狂胡内乱民

豫科一級生今井君① 板屋君④ 田原君②

然田君④ 川橋君③

高田早苗幹事 廢之

鳩山放逐

改進黨大正大隈重信殿

東京專門學校主幹と稱す大隈伯

英語科生徒退校云々

可憐英語科生徒

洋行字士賈板屋確太郎君

今日村...

抄録... 第六...

○第六教場

佐藤、氣取オヒタシ

今日休業

花柳君休近春风惱殺人

大隈伯秘書役 尾崎行雄 吉田善六(朝野)

矢野文雄 藤田茂吉(報知) 沼間守一 藤田一郎(報知)

伊藤博文秘書役 末松福地

數理者乃有字之者其甚也矣

海軍少将

海軍主計總監

佐瀬保鈇守府

関東書生会創立之義、自御親心談申
度義有之俱同奮、御来会被下度

肥前佐賀

今井講師、昨日

東京専門学校々長高松早苗

百濟

高田講師悪イ病氣

徳田博士、講師及流通證券法、講師免職云々

石川五右エ門様

春立ちし今日ノ雨ヤウレシカニ

立花先生、ナマケ先生也

文久年間

進化

教場、實ニ都合ヨキ教場也

石塚

物件ノ形状ヲ化シ其位置ヲ変シ無用物ヲ
有用物トナス

普通一年生批評

石川監獄署長

○第七教場

改進黨ハ無気力党也

作文題 認可試験ノ不必要ヲ論ス

異居ノ人ハ字書ヲ見ル者ナリ心得

詰郎今夜抱花眠

歴史ノ溝義ノ時カゾクト突ツ口チハ下駄ノ

然ナリ

嬌語喃喃説花

しましまの大懇を人間はく、教のり子香ふ

山梅うさ

怪心党

外臣党

先生の瓜の大也

東京専門学校、司法科、對する「不熱心ナリ」

校長前島密殿へ余り、**年九**（たのむ）

高田早苗氏より校長へ挨拶ス

生徒總代

東京専門学校事務局

陸中

有名な法理学者オースチン氏

大学ノ組織、早稲田大学ト名称ヲ変セヨ

橋ノ忌情教師宜ク放逐ス

○第八教場

日曜毎、机ヲ拭フニシ

本校法律科、良教師ナシ諸君心マラハ莫ク
祈以テ討究セヨ

本校一等ノ徳心家 天野君

同 強胆家 三宅兄弟

同 卑怯者 高田早苗

同 淡泊家 坪内 (吾ハ使(濃熱))

同 ツラヌヤシ 今井 田原

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

大坂の大将 橋本三郎

本校一軍の出来を以て大將 佐藤淳太郎也

一名 大一郎

大隈私立東京專門学校

資金五萬圓

諸君今向内閣の豫定を注視すべし

任内閣總理 野田 大塚 矢野文雄

任外務大臣

任内務大臣

任大藏大臣

任農商務大臣

任司法大臣

前島密

田口卯吉

河野敏漢

佐藤静 月ヲ啗ニテ死ス

坪内

高田

天野

高田早苗

ねむれくむあくまてねむれ棺の中

高田早苗の大美男より 傲慢生意

一万兩断幹事頭 天見寛専門校

東京専門学校の改進党の集居する所

浮世如夢

校長、今嬢高田文学士と婚す

道徳の腐敗論亦甚哉

悪口野郎磯部 愉快男児坪内 傲慢

監子高田

磯部人ヲ輕蔑スルノ意アリ溝部中、自然

見

怪心竟首領逢苦魔

小書記佐藤可放逐

問答略之批評 答者徒之区々論
事矩又知リテ前論者ノ意志ノ
処ヲ知ラサル者也 夫レ同進党ノ陰點
白平鄙志ハ平生ノ業為リ觀家ニ
以テ之ヲ觀破シ得テ改進党ハ仁者
ノ反面ヲ以テ私利私欲ヲ事トスル
ナリ真仁ヲ尊リ政治家ト云フ賊
マシテ可ナラヤ
質批評者 甚哉批評家ノ難問者ヲ信スルノ

深キヤ

散蒸

雷同乱結首領

誤当

逢苦魔

早稲田所所見次其韵

稲田多皮一經通
弄球少女手帶黒
數十平屋半下宿
可憐八字髯教師

散四鯉幟翻董凡
被酒書生顔抹紅
幾多小口人概頑童
蹇衣步泥濘中

我が思ふ人レ美シサ天使モ斯ク名ト思ハシキ
恋シサイト、堪サリケリ

前島令嬢、高田早苗、甚クフウレリトソ

高田早苗、前島令嬢ヲ取テ、為約束
ヲ申シ、時令嬢、勃然トシテ、泣眼ヨリ、退ケ
シ、ミナラス大ニ高田、助平ヲバクシ、リトソ

高田早苗、今度細君カ、離縁シタルカ、新
美人ヲ撰マシ、居メ、専門ノ学校ニ、女子部ヲ設ケ

自ラ其長トナル由

磯部四郎君、好色家博シテ、アノ由ナリ

君ト手ヲ握ル中、嬉シサ胸、ミカク、テ言フベ
キスベモナリケリ

嬉シト思フ、其事、世ニカズス、ラス多ク、トコシニ
似通フコト、ソナキ、嬉シサ胸、ミカク、シテ、心トキマ
目モク、ラミ、甚カク、ツ、カラツ、トモ、甚ク、イ、モ、ワカ
ヌバカリナリ

諸君ノ、柔弱憐ル、人、余リナリ

高田ノ妻君ハ子宮病ト承リハバカシ

高田憐々シ

吾等専門ノ学校ハ何故認可シ受ヤ

改進黨ノ聲トシテ長キ故者クハウ

改進黨ハ陰険飽カズヒヤ

自ノ其外ハナク

○第七教場ト第八教場ノ中間

梅花薫

高田放逐云々

高田ノ生意気野郎

小膳博士高田好色男子

高田朝寝博士

君不見地底火力幾億萬斤

三宅恒徳放逐云々

専門学校、既、腐敗也

坪内ノ勉強、今井ハホリイナリ 天野ハ困窮ナリ

高田ハ高慢ナリ 田原ハ奸佞ナリ 板屋ハ馬鹿

熊田ハ愚癡

穂積博共善ク人ヲ教ユルナリ

三宅ノゴロ 天野ノユウリ 坪内ノ滑稽 高田

生意気 宇川ノ浮蕩化師

賄ノ下ヲ活セサル

宇川丸面 溝義ノ下手ハ三宅雄二郎

デー先生今井 兎ノ南先生田原 大兵士愛雄

飯紳士高田 俳優的、ターナール坪内

建仁寺
○大図

○玄関
銭門学校

女郎罗行モノハ

清郎今夜抱花眠

東京専門学校講師ハ悉ク忘情ニシテ尚中々

欠席ヲ好ム

誰才子無國嗚呼古昔泥中之花

嗚呼専門学校ノ事終

非英雄好美人 美人好英雄也

如何ニテ講師ノ欠席ヲ防カレ

〇生控所

名譽権

高田君

帽子掛場

ホーシカケハ

道信義

専門学校生徒生音地之大隈ノ境ノ異譚ヲ

持ッレ

晩雨殿梅若編ハ寄テ新聞ニ譽ヲ得シ艶婦

ナリ諸君一日六十事撰山

乞食等

新吉原亭所ニ百角尾張梅新米娼妓政尾

君思の魔

新吉原亭所ニ百角尾張梅新米娼妓政尾

ナリ諸君一日六十事撰山
完人全無又乞ッ諸君在舊ッチ受籠ヲタシラシ

ヲ
東京專門学校
愛花吟史敬白
録中

精神一到何事不成

會計老爺失敬+奴才

坪内先生つしざりく溝義安と愉快なり

校屋ノ馬鹿

我親愛ス我校々師坪内雄蔵君ヨ君ハ安ト一語

秘傳博才名ヲ牲ツテ可クシ一何シ其見ノ多ク得ヤレ

○圖書室

まかり出たるは学校ノ生徒ニてハ五口等此度

……の書物借受けたり
やれ

湯待ふされ

ナマケ圖書室

之をわやす早く明けよ

書齋は室ノ番人ノ馬鹿野郎

夜中何ソ室ヲ開カセヤ 閉室ト云々云々云々

圖書室や使放逐すべし

書籍掛り、若大馬鹿たるは諸君督成

スレ

専門学校改進党ヲ養成スル也

改進党ノ擁護

代議政体ノ改革ハ痛ク改進党アリ

本校ノ費高シ金志同キ者改メ若改メ

ヲ得サル時ハ本校ノ改革ヲボウス也

大隈伯負傷ス否重傷ナリ

佳遊倏忽臆留連

猶記去年今夜月 由照合歡鴛鴦令哀

水盟山約鬱鬱難排別後空床抱病懷

三字不耐懷下之如何大方諸君高教仰之猶
記為書食者枕畔 為君幾度拾金銀

改進党大至大隈重信殿

衣襟尚帶脂粉香

知否以爲舊食裡索脂團粉陣不知愛

吾の中子たつて梅のちうりせいまるのちうりや

也雨からほし

○

右當時、備忘録より浄写ス

大野の原のたつたるに重なる

墨心 筆 試 験 表

